今週（2月20日から2月24日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、前週に引き続き邦銀業態を中心としたビッドサイドの資金調達ニーズが非常に強い展開となった。

無担保コールO/Nは、週を通して▲0.01～▲0.005%近辺での出会いが中心となった。加重平均レートは、20・21日が▲0.009%、22日は祝日を前に、一部で取り上げる先も見られた事から僅かに上昇し、▲0.008%となった。24日も、週末3日積みとなった事で、しっかりと地合いが続いた。

ターム物は、ショートタームを中心に引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、大きな変動はなく520兆台前半での推移となった。

金融調節では、22日に長期金利の上昇に伴い、1月16日以来となる臨時的国債買入オペが2本オファーされ、5年超10年以下が3,004億円、10年超25年以下が1,004億円買入れられた。また同日には、4回目となる貸付期間5年の共通担保資金供給オペのオファー予定が公表された。条件は、28日オファー、貸付期間5年(2023年3月1日～2028年3月1日)、金額はオファー時に通知、金利入札方式による全店貸付での実施予定とされた。

●レポ市場

今週のGCT/N物の出会い水準は、概ね▲0.08～▲0.075%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーン、1Yゾーンが小甘く推移した。

24日に実施された3M物の入札は、事前予想通り無難な結果となった。その後のセカンダリーマーケットではやや堅調な推移が見られた。

短国買入オペは、21日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、全取利回較差、平均利回り較差ともに+0.012%と、やや弱めの結果。

●CP市場

今週のCP発行市場は、食料品、小売業、鉄鋼、電気機器等の複数の業態から大型発行が実施された。月末発行を含む週であったことから活況な一週間となり、週全体の発行総額20,000億円程度に対し、償還総額16,000億円程度と発行超のマーケットとなった。

市場残高は週を通して概ね27兆円台前半で推移した。

発行レートは、3月末までに償還される日銀適格担保銘柄では概ね0%から小幅なプラス圏での出会いが中心であったが、年度末越えの案件や残高が膨らんだ銘柄については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

22日にはCP等買入オペが4,000億円で実施された。結果は按分レート0.003%、平均レート0.015%と 前回(按分0.003%、平均0.006%)比で按分は横ばい、平均は上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/20 (月)	27,531.94	0.500	134.42	△ 0.009	△ 0.083	5,223,600
2/21 (火)	27,473.10	0.500	134.25	△ 0.009	△ 0.082	5,247,000
2/22 (水)	27,104.32	0.500	134.80	△ 0.008	△ 0.082	5,234,600
2/23 (木)						
2/24 (金)	27,453.48	0.500	134.10	△ 0.009	△ 0.084	5,241,900

来週（2月27日から3月3日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
2/27 (月)	12月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		1月の米耐久財新規受注
2/28 (火)	1月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 1月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 29,000億円 3/1発行	12月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 2月のシカゴPM景況感指数
3/1 (水)	福島県金融経済懇談会において中川日銀審議委員講演	交付税借入 11,450億円 3/10借入	2月の米CB消費者信頼感指数 2月のISM 製造業景況指数 1月の米建設支出
3/2 (木)	神奈川県金融経済懇談会において高田日銀審議委員講演 2月のマネタリーベース(日銀 8:50) 10-12月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50) 2月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 27,000億円 3/3発行	2月のユーロ圏消費者物価指数速報値
3/3 (金)	3月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 1月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 1月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 2月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 63,000億円 3/6発行	2月のISM 非製造業景況指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/27 (月)	▲ 400	▲ 2,100	▲ 2,500	CP買入 国債補完	▲ 800 59,600		58,800	56,300	TB3M発行▲63,000 償還60,000 流動性供給▲5,000 国有林野借入▲962償還960
2/28 (火)	▲ 100	9,500	9,400	CP買入 新型コロナオペ	▲ 14,500	4,000	▲ 10,500	▲ 1,100	交付税借入▲12,000 期日12,000
3/1 (水)	▲ 500	▲ 24,000	▲ 24,500				0	▲ 24,500	財政融資資金の回収 税・保険料揚げの前倒し 2Y発行▲29,000償還19,700
3/2 (木)	▲ 1,500	▲ 55,000	▲ 56,500				0	▲ 56,500	法人税・消費税揚げ 年金保険料揚げ
3/3 (金)	▲ 500	▲ 27,000	▲ 27,500	成長基盤オペ	▲ 2,900		▲ 2,900	▲ 30,400	10Y発行▲27,000
週間合計	▲ 3,000	▲ 98,600	▲ 101,600	—	41,400	4,000	45,400	▲ 56,200	

2/27は日銀予想、2/28以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き積極的な資金調達が見込まれる事から、今週と同様に強含みの地合いが予想される。債券レポGC T/N物は、▲0.10～▲0.07%のレンジでの取引を予想する。短国市場は、3月3日に3M物の入札実施が予定されている。また、28日に実施が予想される短国買入オペは、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、特段大きなイベントは予定されていないが、事業法人の発行動向や市場残高の推移には注視したい。

主要なイベントは、国内では、28日に1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、3月3日に1月の労働力調査(完全失業率)、1月の一般職業紹介状況(有効求人倍率)、海外では、3月1日に2月のISM製造業景況指数、2日に2月のユーロ圏消費者物価指数速報値、3日に2月のISM非製造業景況指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入